

ねこまたや

ご存じない方ははじめまして

自己紹介

ねこまたや（屋号）清積紀文(きよづみのりふみ)です
九州（大分県別府市）在住
主にデータ納品で業務をしておりますアニメーターです
主な業務は、原画・作画監督・デザイン・絵コンテなど

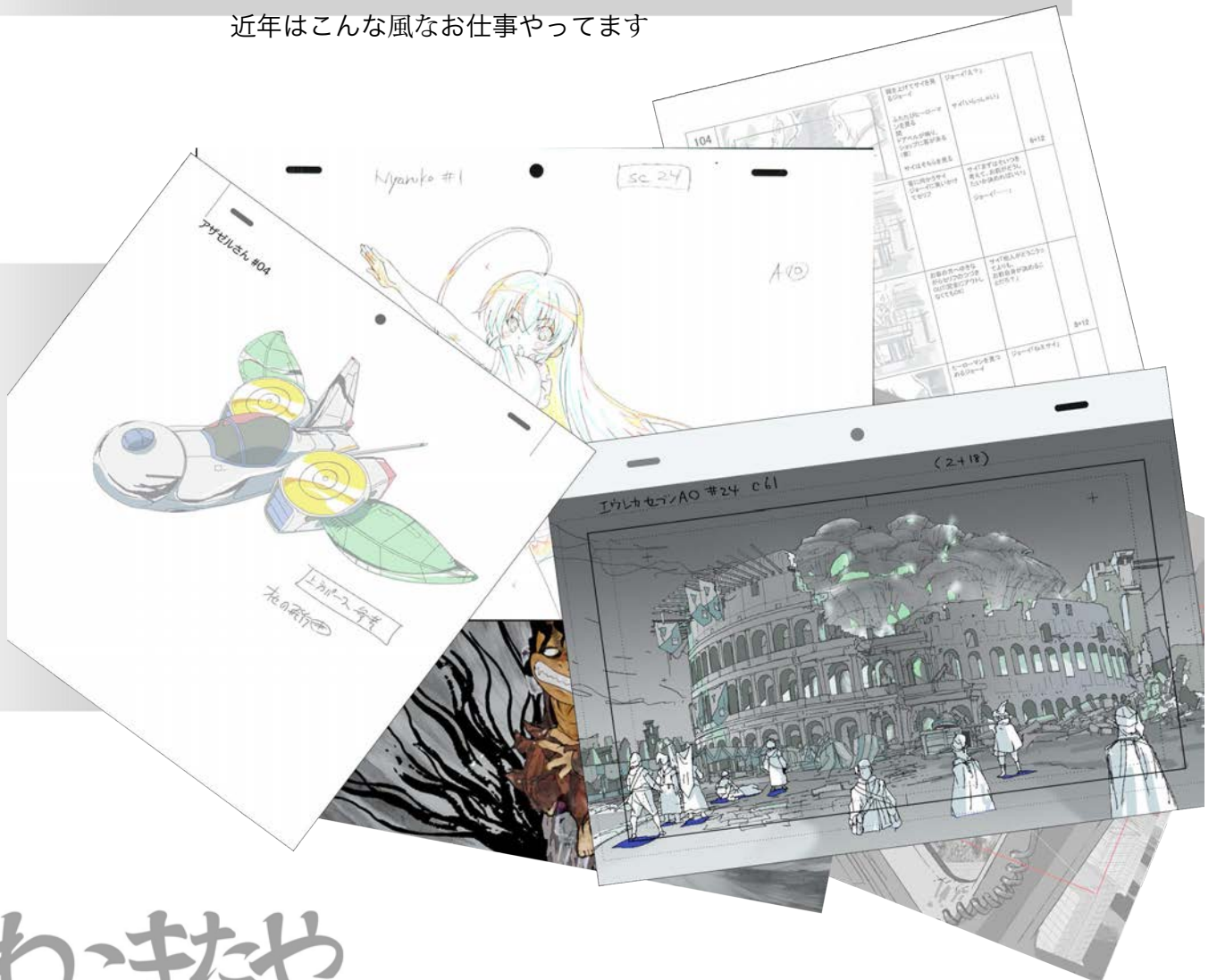
現在の作業環境は

Adobe Photoshop / Adobe AfterEffect / Retas! その他自作アプリケーション

ここ数年はすっかり老眼で用紙での作画はわりとつらくなってまいりました

… が コンピュータのおかげで何とか業務を継続しております

近年はこんな風なお仕事やってます



ねこまたや

業務上、何が困るかといって…送られてくる画像データがよく歪んでいることです。

データ取り込みとプリントアウト なぜ歪むどう歪む

一般的なフラットベッドスキャナは、キャプチャしたデータの縦横の解像度が微妙に異なります。一般的なプリンターにも同様の誤差があります。

通常ははっきり目に見えるほどのゆがみはありませんが、正確に一致していない場合のほうが多いです。

物理的に駆動する方向の誤差は大きく、機械のコンディションによって用紙の送り方向に伸びたり縮んだりします。

「**ウチのコピー機は横に伸びる(縮む)よね**」とか皆さん感じてますよね
スキャナやプリンタの画像が歪むときは大抵コレです

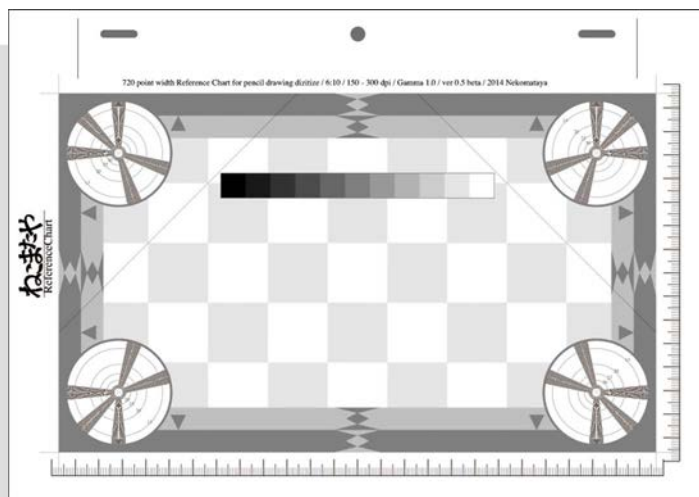


※誤差は控えめに見積っています 誤差が累積した場合には 実は更にずれます
また、「タップの精度」によりデータの誤差とは別に「移動・回転」等ガタやズレとして加わるケースも有ります

これを意識しなければ、アプローチのしようがありません。

まずこの「機械には必ず誤差がある」ということをご理解ください。

「なるべくゆがみの無い状態で作業する」+「ゆがみを検出してソフトウェア上で補正」することが必要です。



取り込みや出力の誤差を検出するためにアニメーション原画用のリファレンスチャートを作成中です。

精密な作画が必要なカットの際は利用をご検討下さい。

βバージョン ダウンロード

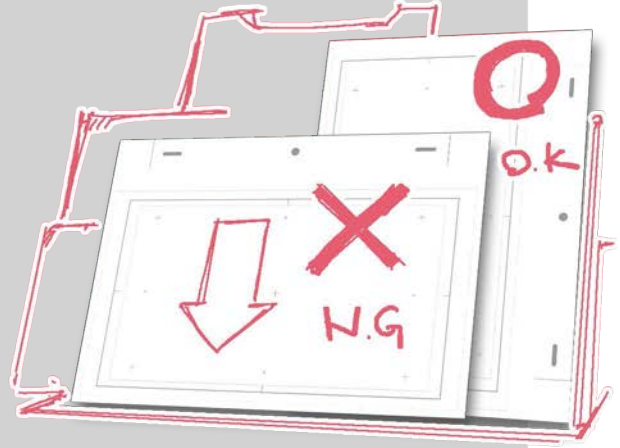
<https://drive.google.com/open?id=0BwOf4PVKbo2tUEdyWnJYT2hpaUk&authuser=0>

ねこまたや

納品した上がりは取引先で印刷して使用していただいています。

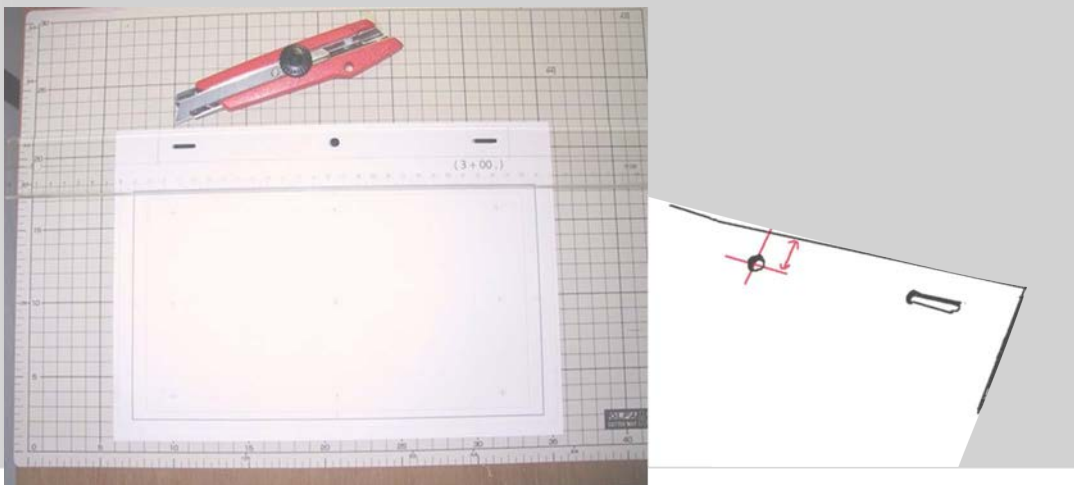
印刷データに正確なタップ穴を

用紙の上辺に対して正確な位置にタップ穴を印刷します
プリンタの用紙送りで最も安定している場所は、図の位置です。
(プリンタの機種によって異なる場合があります)
プリントソフトの調整で安定した辺にタップが来るようにします。
使用する穴あけ器に合わせて距離を決めて印刷調整をします
用紙送り方向は機構的に安定しにくいので、タップ穴を送り方向に垂直に配置するのは避けましょう。



うまく印刷できなかった場合は、穴位置を基準に用紙の端の方をカッターで切り落として調整します

用紙の端とタップ穴の関係を穴あけ器にあわせて調整すれば、後は用紙の横位置を調整するだけで正確な穴あけが可能です。



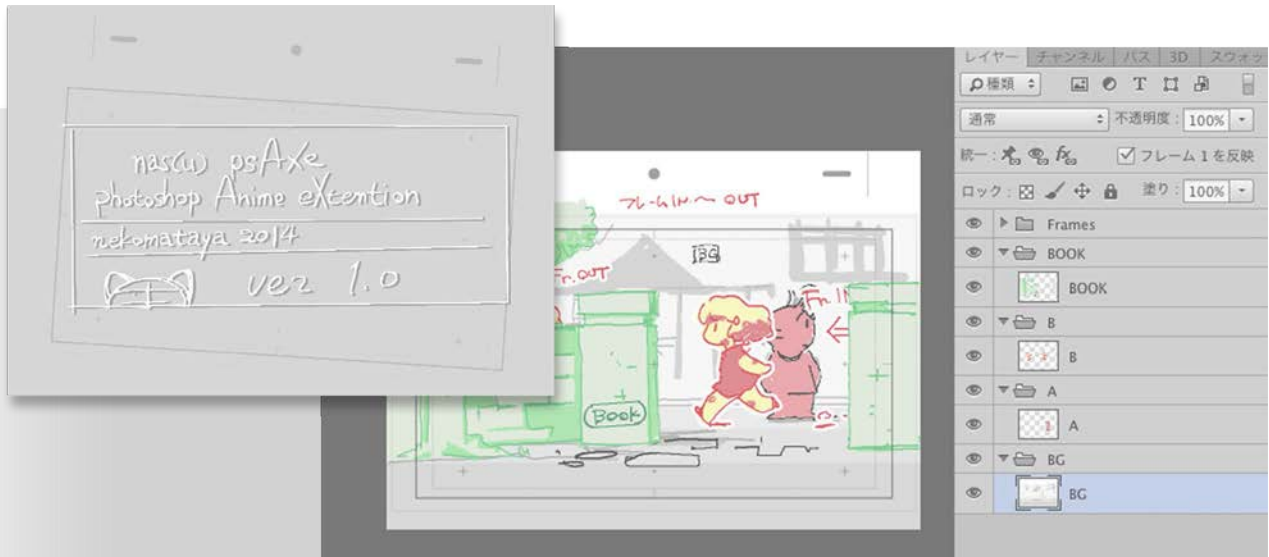
正直…大変です。数が増えたら無茶ですよ

将来的には、穴あき用紙に正確に印刷できるプリンタ（とソフト）が必要ですよえ 業界で作りませんか？そういうプリンタ

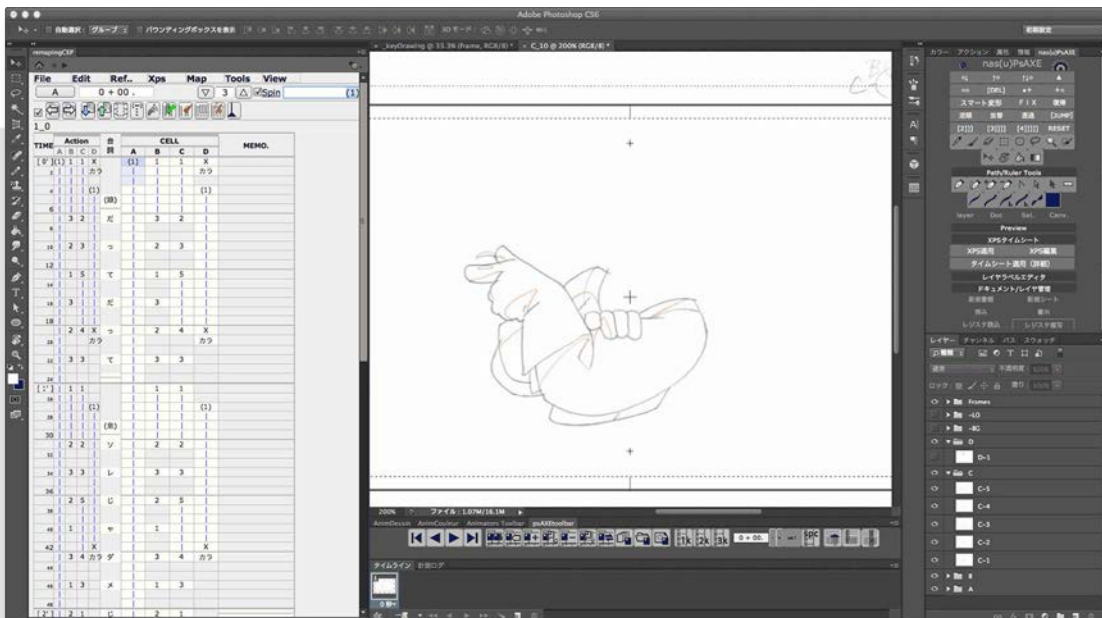
ねこまたや

psAxe について

nas(u)PsAxe (なす ぴーえす あっくす) は Adobe Photoshop 上でアニメの作業をする際の自作の補助機能集です。100 個以上の作業補助用スクリプトとそのライブラリ、及び各種機能呼び出すランチャーにより構成されています。フリーソフトとして公開中です。



原動画を「印刷する」ことを考慮して作成されていますのでアニメ業界、または類似のアニメーション作業を Photoshop で行う際に何らかの助けになるかもしれません。



問い合わせ先：

<http://www.nekomataya.info/psAxe/>

support@nekomataya.info

ねこまたや